

江戸川学園取手高等学校 えどとりAED同好会

～地域の救命率向上に向けて～

○AEDマップの作成

取手駅から学校周辺のAEDマップの更新、新規登録を行った。
「AED N@BI (<https://aed-navi.jp>)」

更新することで、より正確で新しいAEDマップを**保つ**ことができる。新しく登録することで**多くの人に**使っていただけ。

○校内救命講習

毎年、夏休み前に各部活の代表者を集めて救命講習会を行っている。色々なサイトの統計を見ても、中高生の学校内での怪我で**一番多いのが部活時の怪我**であることがわかっている。講習会は短かったが、伝えられることができた。今年度は、去年と同様にペットボトルを用いて胸骨圧迫の練習を行う。

救命講習会での写真



○動画の作成

小学生に救命講習を行うのであれば、誰が見ても簡単に理解できるような動画を作成することが良いと思った。この動画では、えどレンジャーという**ヒーローを登場させ、クイズ形式**にすることで、小学生が楽しく参加することができた。

ペットボトルを用いることにより再利用が可能で、微力ではあるが、**プラスチックのリユース**に繋がりが、待ち時間もなく胸骨圧迫の練習に励めるようになった。



○外部での講習会の参加

昨年度まででは、外部で行われている講習会を調べ、地域の消防署で行われている普通救命講習やオンラインで講習会に参加していた。今年も参加し、同行会での活動に活かそうと思っている。

○立川先生との討論

NPO法人いばらき救命教育・プロジェクト理事長であり、現在豊後荘病院に勤務されている立川先生と、オンラインで、「どのようにすればAEDがより多くの人に広がるのか」というお題で議論をした。私達高校生だけでは思い付かなかった視点からご指導いただいたため、**新しい刺激**をもらった。

○活動団体プロフィール

【学校名】
江戸川学園取手高等学校
【団体名】
えどとりAED同行会
【活動人数】
11人
【活動年数】
4年



「一人でも多くを目指して。」

学校の体育の授業で女子小学生が突然死したのをきっかけに女子小学生の母親を中心にAEDの普及活動を11年間し続けている。皆さんはこのお話を知っていたであろうか。このお話は「高校生の私たちにも何かできるのではないだろうか」と考えさせた話だった。これが私たちの**活動の起点**である。そして、私達の高校がある茨城県での救命率はたったの5.1%であり全国平均7.2%から2.1%も低いことがわかった。この2つの出来事により同好会の創立から現在までAEDの設置場所を記録し、使い方や設置場所を広めてきた。すべての年代で一人でも多く**AEDや救命活動を知ってもらうため**今日も活動し続けている。

○外部でのAEDの普及活動

いばらきフォーラム第2回県南地区交流会議に呼んで頂き、土浦市の方々にAEDの重要性や、AEDマップについて広めることができ、目標に一步近づくことができた。また、茨城県青少年育成協会より、**令和4年度青少年団体表彰受賞**した。



私たちの決意

昨年7月、安倍元首相の銃撃事件が起き、この悲しみにより多くの国民が救命活動の重要性を知ることとなった。私たちはさらに活動を強化し、取り組みを続けていこうと思った。

いつ、どこで起こるか分からない

まずは**学校内にいる生徒**に対して講習をして広める

安心した街づくりや地域貢献につながる

地域内にとどまらず講習会や普及活動をして**多くの人に広める**

AED N@BIを通し**周辺の人**に広める

全年代の人がAEDについて知り、**いざという時に動ける**ようにしたい！

今後の展望

今年度立ち上がった、いばらきAED推進プログラム「**見つけよう！わたしの近くのAED**」に参加して、茨城県全体の高校生と交流して茨城県内の救命率の向上を目標に活動を行っていく予定だ。**VTuber**による普及活動を行うために、親しみやすく多くの人々を惹きつける動画を作成する。このような活動を続け、目標に向けて活動していく。